

【お客様導入事例】

# 東急建設の セキュリティの取り組み

～Workspace ONE/Carbon Black～

藤井 隆行 様

東急建設株式会社

経営戦略本部

コーポレートデジタル推進部

インフラ・セキュリティグループ

vmware®

©2022 VMware, Inc.



# 東急建設のご紹介

## ソリューション導入検討～導入後

# 東急建設のご紹介

## ソリューション導入検討～導入後

社 名	東急建設株式会社
創 業	1946年3月12日
事 業 内 容	総合建設業
資 本 金	163億5,444万円（2022年3月31日現在）
代表取締役社長	寺田 光宏
従 業 員 数	3,012名（連結、2022年3月31日現在）
売 上 高	2,560億円（連結、2022年3月期決算）
株 式 上 場	東京証券取引所 プライム市場
本 社 所 在 地	東京都渋谷区渋谷1-16-14 渋谷地下鉄ビル

## 企業ビジョン「VISION2030」

0へ挑み、0から挑み、環境と感動を 未来へ建て続ける。  
(2021年3月策定)

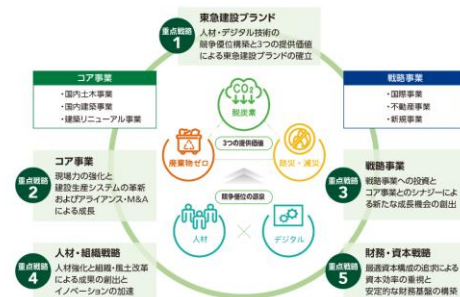


## 3つの提供価値

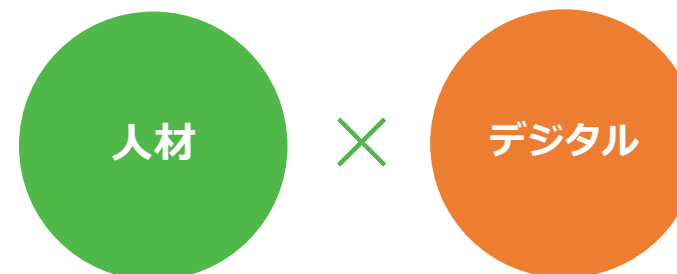


## 長期経営計画「"To zero, from zero."」

(2021年5月公表)

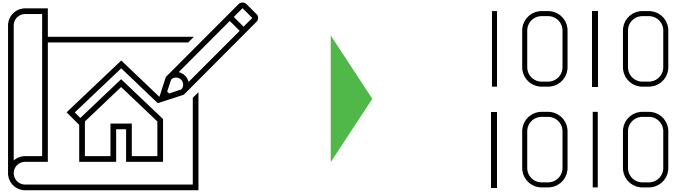


## 競争優位の源泉



重要性が増しているSDGsを事業機会と捉えた上で、当社グループのケイパビリティとの適合性から定めた3つの提供価値を戦略の軸と設定。人材とデジタル技術による圧倒的なスピードを競争優位の源泉と定め、企業価値を創造していく。

## BIM/CIMの活用・利用推進

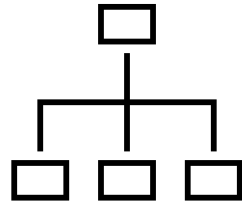


## ペーパーレス・ハンコレス推進

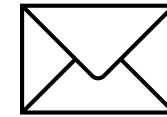


デジタルは東急建設の競争優位の源泉の一つとして位置付ける重要なものである。

## 組織の新設（2021年度～） インフラ・セキュリティグループ



## 標的型攻撃メール訓練・ e-Learningの実施



## ゼロトラスト推進に向けた ソリューションの導入



VMware  
Workspace ONE®



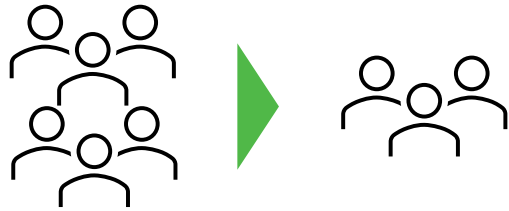
VMware  
Carbon Black™

# 東急建設のご紹介

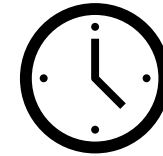
## ソリューション導入検討～導入後



人口減少に伴う労働力の減少



時間外労働規制の適用（2024年度～）



東京2020大会後の建設需要の落ち着き



ダイバーシティ対応（子育て・介護）



## 中期経営計画（2018年～2020年度）期間の結果

課題

働き方改革の推進  
ダイバーシティ対応（子育て・介護）  
作業所の週休2日実現（業界要請）

システムの刷新  
IoTの推進

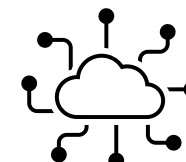
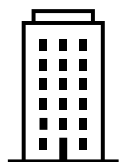
施策

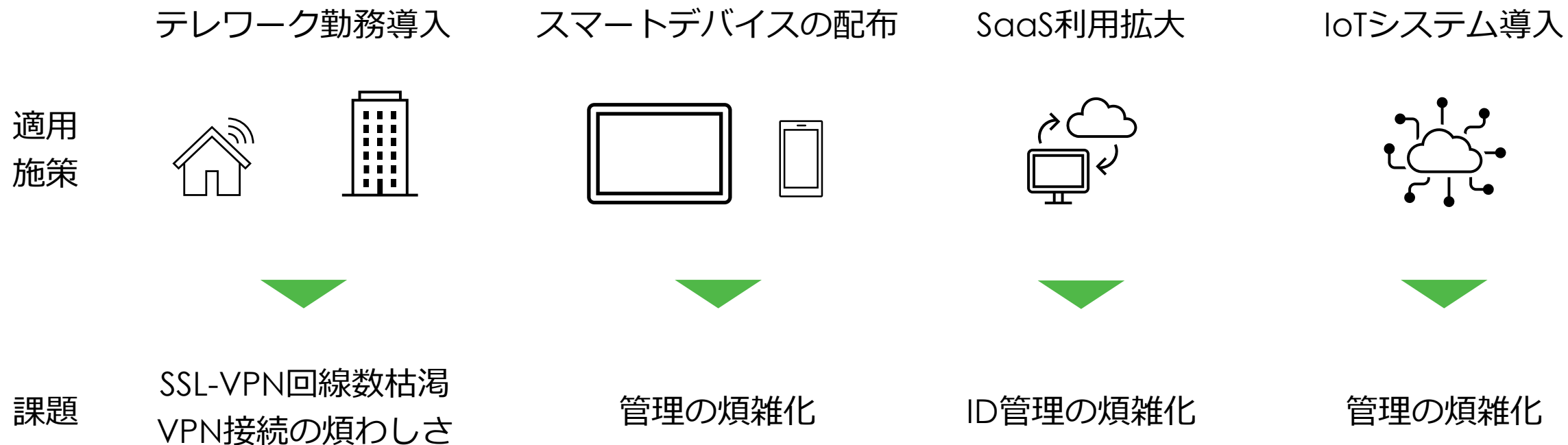
テレワーク勤務導入

スマートデバイスの配布

SaaS利用拡大

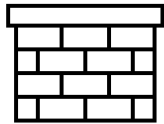
IoTシステム導入





上記以外に採用していたアンチウイルスソフトの提供会社の買収に伴う、ライセンス費用の大幅増という課題もあった。

これまで  
**境界線型防御**



社内ネットワーク内にある  
機器（ノード）は**信用する**

これから  
**ゼロトラスト**



社内社外ネットワーク関係なく  
機器（ノード）は基本的に**信用しない**

テレワーク推進、スマートデバイス配布、SaaS利用拡大、IoTの取組推進に伴い、社外から社内ネットワークへのアクセスが前提となるようになってきたことからセキュリティ対策として根本的に考えを改める必要が出てきた。

2020年5月～2020年12月

①  
提案受け～  
選定～契約締結

2020年12月～2021年6月

②  
設計・構築

2021年7月～現在

③  
運用・保守

2020年5月～2020年12月

①  
提案受け～  
選定～契約締結

2020年12月～2021年6月

②  
設計・構築

2021年7月～現在

③  
運用・保守

# 導入の流れ（提案受け～契約締結）

2020年5月

VIEWMウェアより  
EDR製品Carbon Black  
の紹介

2020年7月

VIEWMウェアより  
Carbon Black及び  
Workspace ONEの  
提案

Workspace ONEに関  
しては導入の方向  
EDR製品は7製品につい  
て調査の上  
Carbon Black含めた3  
製品に絞りこみ

2020年8月～2020年10月

EDR3製品のPoC実施  
MDR含めた検討を実施

Carbon Blackを選定

システム構築業者様よ  
り導入に向けたご提案

2020年12月

社内決裁・契約締結

2020年5月～2020年12月

①  
提案受け～  
選定～契約締結

2020年12月～2021年6月

②  
設計・構築

2021年7月～現在

③  
運用・保守



Workspace ONEのPCへの適用拡大



Workspace ONE®  
Intelligent Hub

次世代エンドポイントセキュリティ製品の採用



VMware  
Carbon Black™

Windows10用管理ツールの移行



Workspace ONE®  
UEM

認証方式の移行



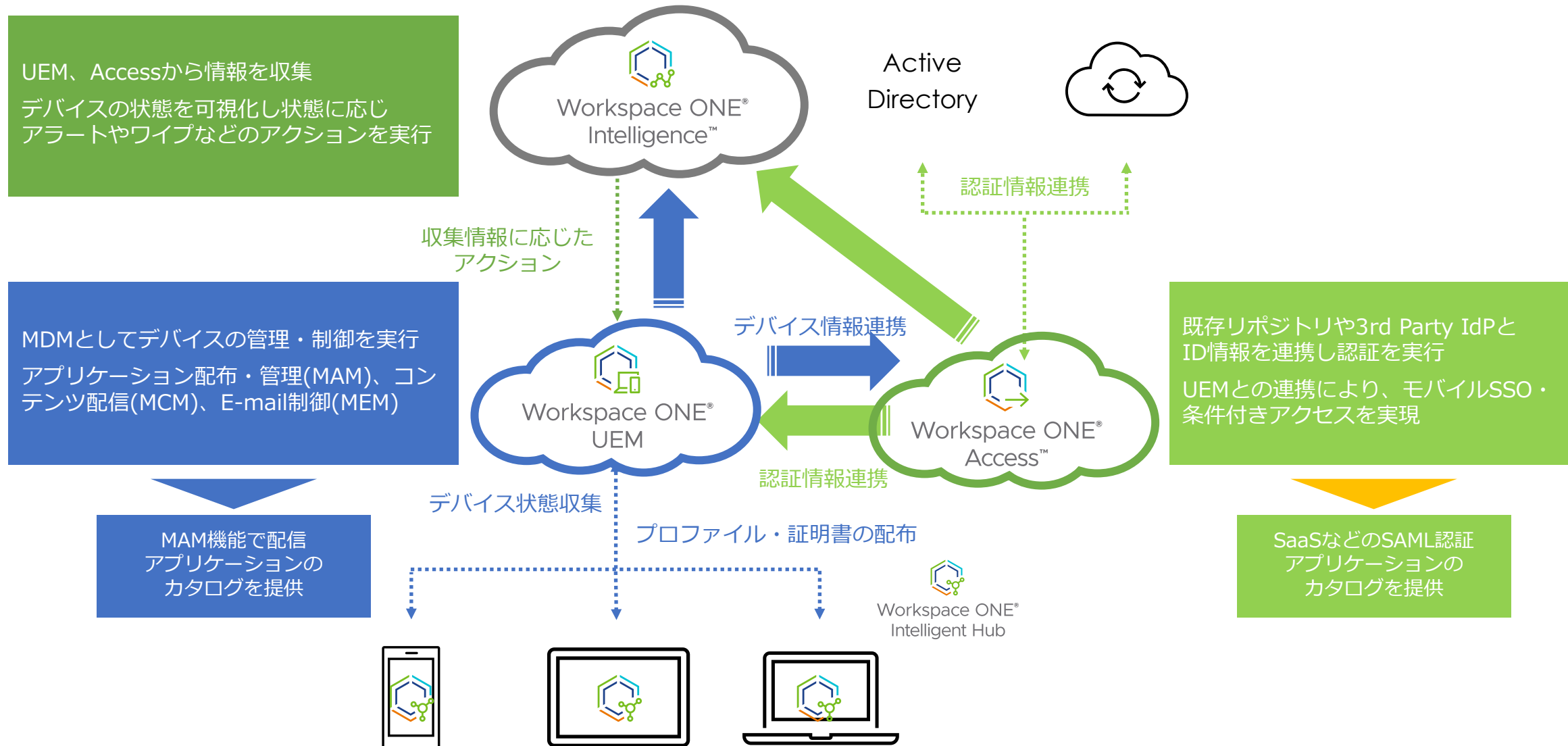
Workspace ONE®  
Access™

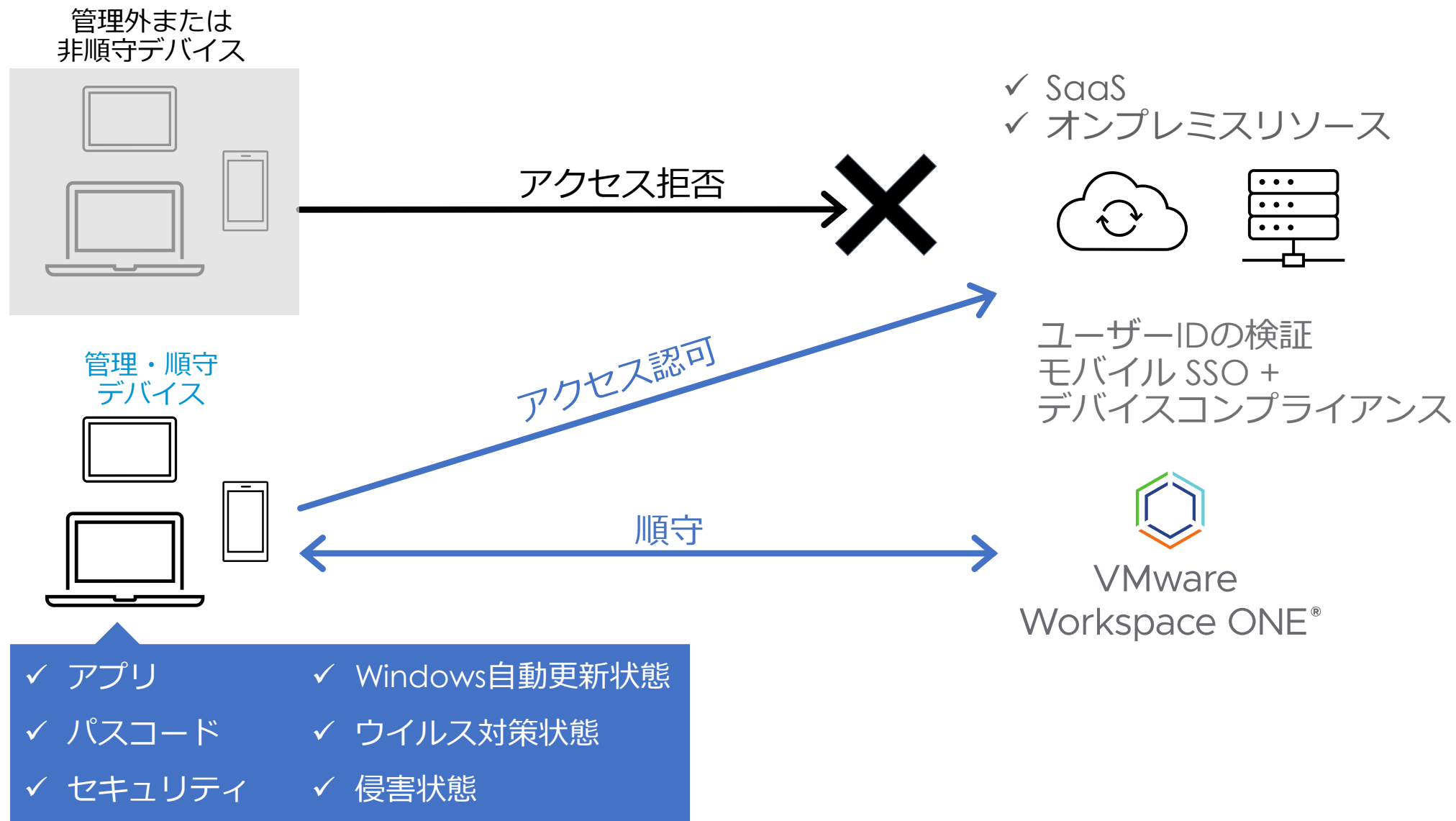
Workspace ONE-  
Carbon Black連携

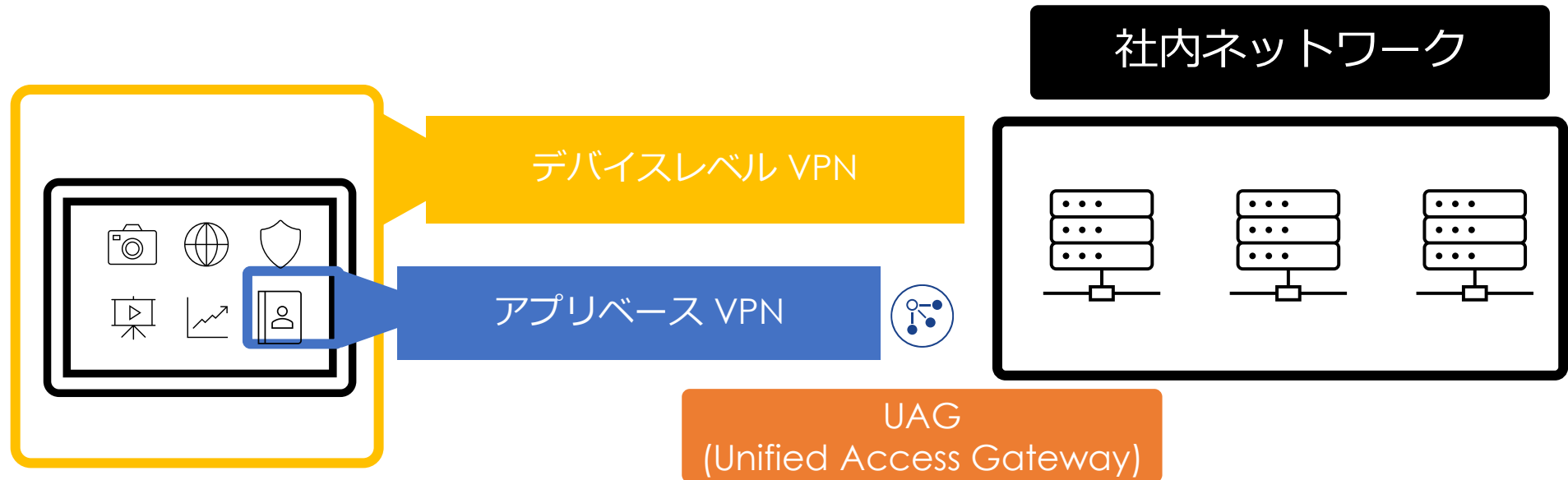


Workspace ONE®  
Intelligence™

Workspace ONE設計支援サービス（PSO）の利用

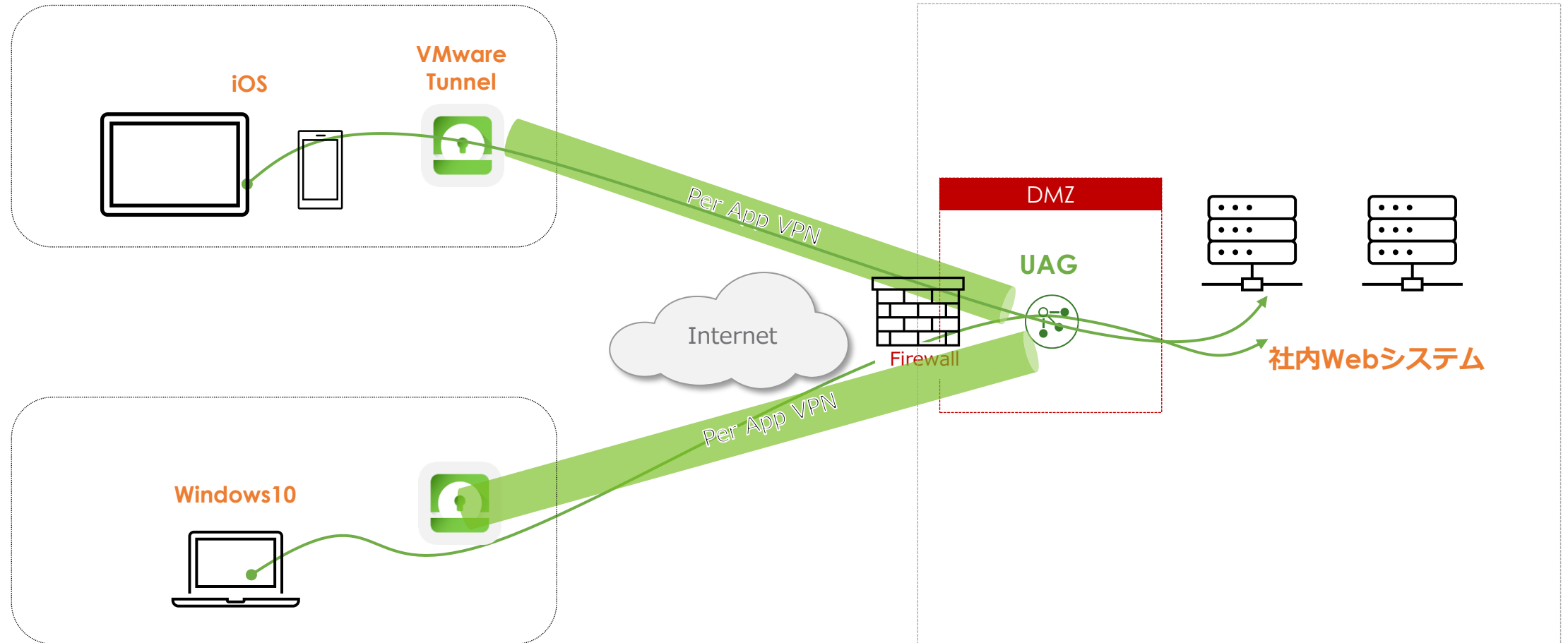


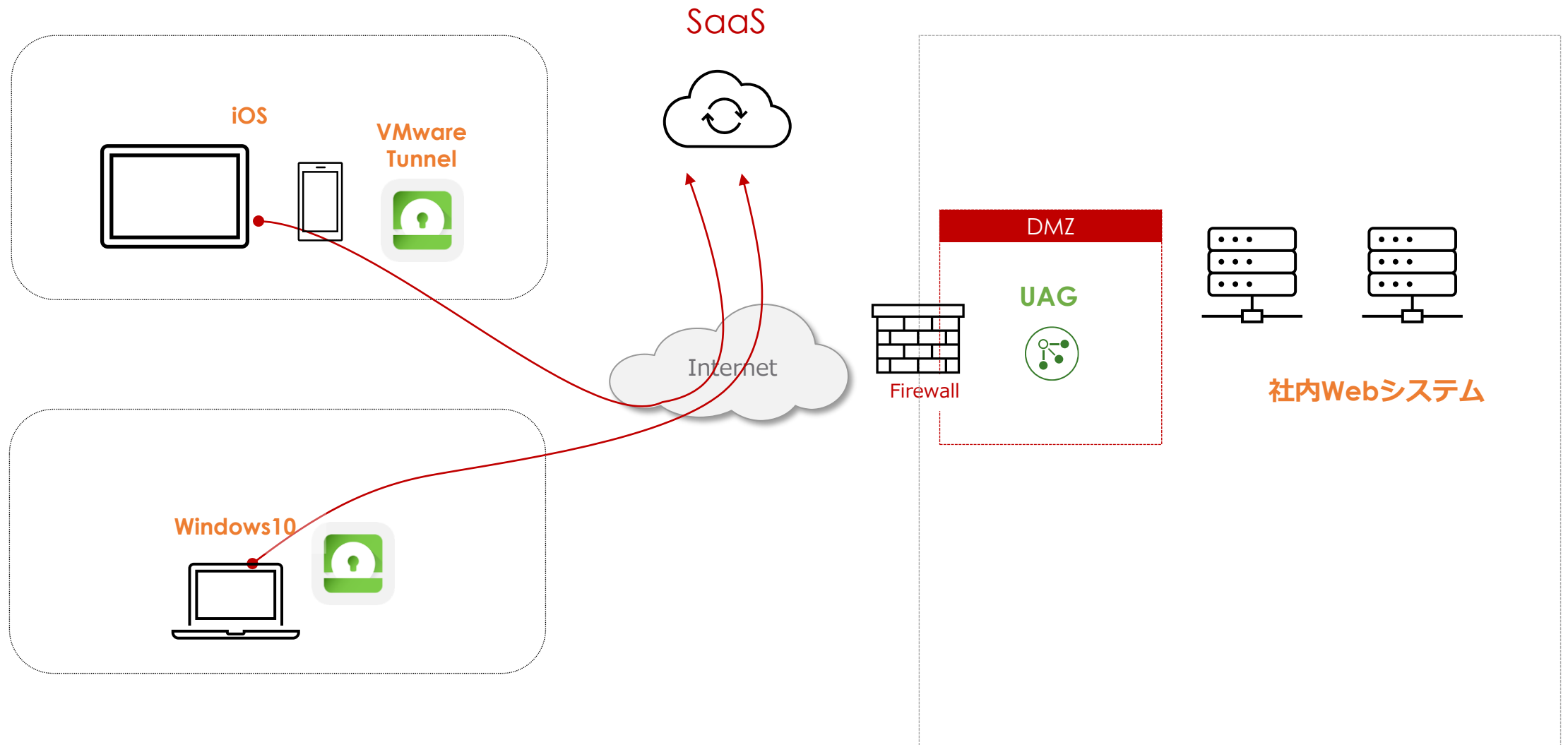




アプリケーション単位でのVPN  
端末全体がVPNを張る必要がなくセキュア

アプリケーション起動の際に  
自動でVPNを張るため、利便性も向上





OS展開と  
オンボーディング

イメージレスプロビジョニング  
既存 PCLMからの移行

構成管理

MDM構成

ソフトウェア配布

Win32アプリケーション管理／企業のアプリケーションストアとSSO  
OS機能を使ったピアツーピア配布／アプリケーションのインベントリ

健全化とモニタリング

BitLocker管理

## <概要>

ヴィエムウェア（PSO）による以下の内容の提供

- Workspace ONEでWindows10を管理する上で必要な設計項目
- 効率的な設計手法に関するノウハウ

## <サービスメニュー>

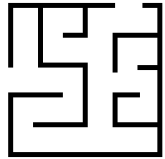
- Workspace ONE UEM設計支援 for Windows10
- Workspace ONE Intelligence 活用支援
- Workspace ONE 認証設計支援

## <結果・効果>

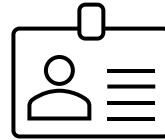
- プロジェクトのQCD確保に対する多大な寄与
- システム構築業者様の適切な各種マネジメント・的確なアドバイス



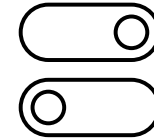
SSL-VPN使用機会の  
大幅減



各サービスへの接続時の  
適切なID管理



適切なデバイスの  
ポリシー管理



ライセンス形態の変更  
(デバイス単位→ユーザ単位)



異なるOS間の  
デバイス統合管理

Windows/iOS

2020年5月～2020年12月

①  
提案受け～  
選定～契約締結

2020年12月～2021年6月

②  
設計・構築

2021年7月～現在

③  
運用・保守

## <概要>

VIEWウェアの運用アドバイザーによる以下の内容の提供

- 運用の早期定着化に向けた運用ノウハウの提供
- 運用課題が発生した際の改善提案

TAM : Technical Account Manager  
TSS : Technical Support Service

## <サービス利用に関する概要>

- メールでの問い合わせ対応
- 月次での定例会開催



VMware  
Workspace ONE®

- ・ 全般的には便利なソリューションである
- ・ 多機能で使いこなせているのか不明瞭
- ・ 頻繁なソフトウェア更新による日々の機能拡張



VMware  
Carbon Black™

- ・ MDRサービスも含めて概ね満足している
- ・ 攻撃の検知検知・接続遮断の実績

Workspace ONE導入後、Salesforceへのログイン時に多要素認証対応が必須となったが  
特段問題なく適用できた。

- ・ **VIEWMウェア内部環境での検証実施ご対応**
- ・ **検証結果に基づく弊社環境への適用に関する的確な回答**
- ・ **有益な情報の即時のご提供**
  - WindowsのKB開示前の情報
  - 他ユーザ様での不具合発生情報
  - VMwareのイベント／他社事例
- ・ **仕様／不具合に切り分けに関するご回答**

- ・ サーバ群へのCarbon Blackの適用
- ・ iOSアップデートの更新管理の適正化
- ・ Workspace ONE Intelligenceの活用検討

**本セッションの資料は以上です。**